



ごみ減量へのささやかな取組

～「キエーロ」という便利な生ごみ処理器をご存知ですか～

中村 修見 (Step07)

令和4年(2022年)4月、私の住む南知多町で「南知多町ごみ減量化推進会議の委員」公募があり、日頃からごみの減量や3Rなどに関心があり、また第7次町総合計画審議委員としての関わりもあったので、応募しました。

「南知多町ごみ減量化推進会議」(令和4年5月1日から令和5年3月31日、委員委嘱)では、1年間6回の会議開催で協議を重ねながら、これまでの減量化施策と主な課題を検証し、令和5年度から9年度の5か年で実施・検討するごみ減量の数値目標や施策など「南知多町ごみ減量化実施計画」に盛り込む項目について、原案を考えるというものでした。

ごみを適正に処理するためには、莫大な費用が必要となります。折しも、令和4年度から供用開始となった知多南部広域環境センターの施設管理と知多南部広域環境組合の運営に必要な費用は、組合を構成する2市3町(半田市・常滑市・武豊町・美浜町・南知多町)それぞれの家庭系ごみの搬入量の比率で分担金を出すことになっていました。そのため、南知多町では、4市町並みのごみ減量化に努め、分担金の軽減を目指す

ことが大きな課題となっていました。問題を解決するため、町は「南知多町ごみ減量化実施計画(案)」を提出し、パブリックコメントを経て策定、町公式HPで公表しました。会議での協議を通して、多くの気づきや学びを得ることができました。

また、令和5年度、ごみの減量化につながる「生ごみ処理器キエーロモニター事業」が実施されることになり、モニターとして参加。キエーロという言葉、耳にしたことがありますか。キエーロは土中にある微生物の働きで生ごみを分解する「生ゴミ処理器」です。基本的に何でもポイと投入、ごみ袋代も節約でき、目から鱗の体験をしました。(何と、何と！下処理した生イカの内臓物など土中に投入すると、数日後に消えて無くなっていたのです。これにはびっくり！)

いま、全国のさまざまな自治体でも各家庭への導入を進めているプロダクトです。参考に、PC等で検索してみてください。そして、興味がありましたら、ぜひ一度お試しく下さい。やってみる価値はあると思います。我が家では、ごみ減量へのささやかな取組として、キエーロを継続しています。

<参考>モニター期間 令和5年6月1日から令和6年2月29日)

- モニターの方法
- ①手引きしおりを参考に、工夫して生ごみを分解する
 - ②投入記録用紙を記入する
 - ③投入記録用紙とアンケートを提出する

- 用意するもの
- ①キエーロ(プランター容器)(a図)
※容器は日光と風を通すために透明な樹脂製のふた付き
屋外の日当たりが良く、風通しの良い場所に置く

- ②黒土 ※①の容器に黒土を入れる
 - ③スコップ(移植ごて)
- 投入方法
- ①スコップで穴を掘る(深さ20cmくらい)(b図)

- ※以前投入の生ごみが消えている
- ②生ごみを入れる(c図)
- ③土をかけ、生ごみと混ぜる
- ④土をかぶせる(5cmくらい)

a 図



b 図



c 図



2024 年度役員・編集委員の想い

今年の交流ネットは？

会長 佐野裕香子(Fem'09)

今年度も昨年度に続き、交流ネットの会長をさせて頂くことになりました。今年度はNHK 朝のテレビ小説『虎に翼』のロケ地にウィルあいちの前にある名古屋市政資料館がつかわれていることがきっかけで「法」について学んでいくことになりました。法律用語を見ると、何を言っているのかさっぱりわからない、六法全書は別次元の文章ではと思ってしまいます。しかし、法で生かしている私たちであり、法で守られている私たちの生活を思う時、法律を”知る”ことが人生を切り拓くために大切な鍵では…と考えます。

私の母は世に言うキャリアウーマンでした。女性が行ける学校がまだ少ない時代に学校へ行かせてもらい教員となり、結婚後も定年まで教職の道を歩み続けました。続けられたのは、姑である祖母が元気に家のこと、私の世話をしてくれたからです。そうでなければ、母は仕事を続けることは到底無理だったと思います。勿論、職場(社会)からの応援や自分の強い意志も当然あったことでしょう。今後女性が普通に仕事を続けるため、家族の助けだけでなく、公的な制度で支えていける社会にしていくべく、交流ネットの活動にしていきたいと思います。

民俗学の中の女性学

副会長 山田和枝(Step07)

3月17日付中日新聞「視座」に、『宮本常一から学ぶ民主主義』と題した宇野重規の記事が掲載され、目が釘付けとなりました。

そこには次のような一文がありました。

「例えばそこには寄合の事例が紹介される。宮本が村の古文書の利用を依頼したところ、寄合が召集されるのだが、それが実に面白い。参加者は延々と議論を続ける。時に話題はそれ、やがて戻ってくる。必ずしも理屈を言うばかりでなく、それぞれが知っている事例なども次々に紹介される。ご飯を食べにかえる人もいれば、夜通し話し続ける人もいる。大切なのは無理をせず、みんなが納得するまで話し合うことであつた。だから結論が出ればみんなきちんと守る必要もある。」私たちの交流ネットも一つの寄合と考えれば、みんなが納得するまで話し合ことによってよい結論が導かれるのではないのでしょうか？皆様一人一人の交流の踏み台となるよう、進みたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

交流ネットの活動で得られたもの(2024)

書記 杉本 浩子(Amelie '10)

2024年度NHKでは、女性初の裁判官に光を当てた物語が朝ドラで始まりました。戦後から、男女平等を核とした、普通の女性の人生を取りあげた話が、今やっと届けられていると感じています。

まず心動かされたのは、ドラマ画面に現れる市政資料館の建物が、身近に思えたからかもしれません。「無言でいることは賛成の意思？」を日常生活の常套としていた女性達へ、思っている事を言葉にして、理解を得ることの大切さを教えてくれている。

それは、現代でも同じだと再確認する毎日です。



サボテンの花

多くの事に関わっている私ですが…。そのなかの一つを御紹介をしたいと思います。一宮市のSDGsサポートメンバーの児童発達支援&放課後等デイサービスを行っている、とある事業所では…。市内近隣のスーパーさんや農家の方々から食材等の寄付をいただき、毎月第4日曜日に子ども食堂を運営しています。子ども達の居場所づくり、地域のコミュニティの場を目指して、ボランティアのみなさんと活動しています。もちろん私も参加できる時にはお手伝いに参加しています。時には、私の子ども、息子や娘もお手伝いに参加しています。子ども食堂を訪れる方は、赤ちゃん～おじいちゃん、おばあちゃんまで。御家族やお友達同士だったり。普段、仕事と家事、子育てで忙しい奥さんに、ゆっくりしてもらおうと、ご主人がお子さんを連れて子ども食堂にみえる方もいます。たくさんの方が子ども食堂を訪れ、『おいしい。』と言って食べてくださり、食べ終わると、『ごちそうさまでした。ありがとうございました。』と言って帰っていかれます。多くの方との出会い、多くの笑顔がみれます。そして、何よりも私も子ども達も貴重な経験と体験ができていく事に感謝です!(^^)!



交流ネット会計の鈴木 清美でした。(^^)/

『知る』ことから

編集委員 金森 淑英(ベリーズ18)

私は、男女共同参画の推進を図る活動の他にいくつかの分野で仕事や、ボランティア活動をしています。例えば学習支援や子ども食堂だったり、選挙の啓発に関することだったり、海外のNGOで働く人の支援だったり。自分のもっているもので何かを支えることができるならと思って始めるのですが、想定外のことにぶつかり思い悩むことがよくあります。

そんな私ですが、関わるときに心に決めていることがあります。それは直接的な金銭や物でできる限り解決しない、支援しないこと。そのためには、現在の状況を把握し、必要なことを見極めなくてはなりません。相手に伝えたことが色々な側面で支えになることが理想です。

もう一つかかわった人から自分が教えられたことを見つける(確認する)ことです。

それを可能にするキーワード、それが『知る』だと思っています。私たちが活動している“交流ネット”。この場は私にとって『知る』を与えてくれる場所です。様々な人の考えを聴き、新しい世界が開かれたり、考えを深めたり、既知のことがつながったりする所です。そうあって欲しい、今年度もそうしていきたいと思えます。



子どもが画いてくれた私の似顔

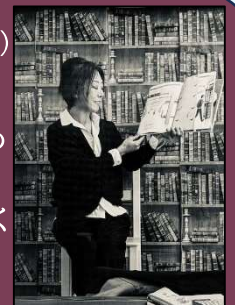
「男女共同参画」の現在地が知りたいと思っています。

編集委員 間瀬 結子(Reiwa '19)

私たちが活動を説明する際、往々にして「で、結局、男女が共同で参画ってどういうこと？」と言われてしまう男女共同参画が指し示す領域について、そしてその成立過程と変遷について、まとめたいと考えています。

SDGsでジェンダー平等が謳われ、特定の党派や宗教団体とバックラッシュとの関係がようやく取りざたされ、あらためて女性に関わる問題が問い直されている今、男女共同参画視点からの言説があまりにも少ないのではないかと感じています。

ウーマンリブやフェミニズムとテーマや人、活動のネットワークが重なりながらも、男女共同参画には独自の系譜があります。行政との協業、地域との関わりにおいて果たしてきた役割と結実、先行きの見えない今だからこそ、そこには切実な問いが含まれています。男女共同参画を掲げて長らく活動されてきた諸先輩の皆さま、ぜひ、お話を聞かせてください。



『ぼくらのサブウェイ・ベイビー』(ピーター・マキュリーオ(作)、レオ・エスピノーサ(絵)、北丸雄二(訳)サウザンブックス社 2022年)読み聞かせ中

間瀬さんの鋭い視点に触発されて・・・

編集責任者 森田 登喜子(ウィル 2000)

たしかに、行政が主導した「男女共同参画」は「女性の活躍」に舵を切り、経済界の後押しで一見「女性の立場」が引き上げられて、「男女共同参画」の問題は軽減した(ウソッ～、ですが・・・)という扱いです。一方本来の女性の問題に真向かった運動は「フェミニズム」として続いてきましたが、今は「多様性」、「LGBTQ」というマスコミも巻き込んだ目立つ活動の中で、「女性、女性と言うのはピンとこない」などと言われる場面にも遭遇します。

しかし実態は、女性の状況は新自由主義で導入された経済体系の中で生じた男性労働者の女性並みへの雇用悪化に紛れて明確に意識されないまま、ほとんど改善されていない、と私は見えています。

「男女平等」と声を大にできないために不明確な「男女共同参画」として誕生した基本法ですが、不平等の中で溜められてきた女性の怒りのエネルギーを吸い上げ、行政との協働態勢に支えられてさまざまな活動を生んできました。

私は、名古屋市内天白区の呼びかけで作られた「男女平等参画推進事業実行委員会」に参加し、その後独立した「eコールてんぱく」の中で20年余、区民版の「男女」と「人権」の事業を続けてきました。低予算ながら、区との協働でさまざまな良い事業ができたと思えますが、今はご多分に漏れず高齢化・少人数化にみまわれています。しかし、多くの区民の息吹に触れ得るこの事業、できる限り続けていきたいと思っています。

素晴らしい前文を持つ「男女共同参画社会基本法」は、日本の女性運動の大きな支柱です。活用し尽くせば、平等・人権の世を作っていくのに資すると思えます。



映画と講演の一刻

コメは命だ！

コメ騒動に立ち上がった女性たちの必死の活躍は、全女性、全日本人が背くことでしよう！

2024 年度新入会 ～Lapin' 23～

2023 年度修了生代表として、第 1 班から 6 名で参加します。チーム名は「Lpain' 23」です。昨年度の研修では、これまで知らなかったこと、触れてこなかったことなどたくさんの方が学べ、充実した時間を過ごしました。久しぶりにレポートにまとめるという作業も面白く、達成感を味わうことができました。今年の交流ネットのテーマは「女性と法律」ということで、新たな視点が学べるのではないかとメンバー一同楽しみにしています。(川口 美代)

刈谷市まちづくりコーディネーターの岡由香です。市民の皆さんの困り事相談・自治体活動のお手伝い等、市民活動の伴奏者と自負しております！女性であることに誇りをもち且つ楽しむ姿勢で交流ネットの皆さんとも活動させていただきたいと思っております♪

犬山市在住、本間敏代です。4月より「イーブルなごや」にて、指定管理者：有限会社アイ・ティー・オーの一員として仕事をしはじめました。男女平等参画と女性教育について、少しでも力になればと思っています。様々な講座が開催されていますのでぜひ一度ホームページなどご覧ください。また、交流ネットでの新たな出会いや再会も楽しみにしています♪

西尾市、「西尾幡豆子育てネットワークの会」の加納真由美です。2023 年より「ホームスタートにしお」を立ち上げ、活動しています。西尾市に住む全てのお母さん、お父さんが「幸せな子育て」ができるようサポートさせていただいています。研修で学んだことを活かせる場面もあり、参加してよかったと思います。今後ともよろしくお祈りします。



北名古屋市で活動しております、石黒麻衣です。微力ではありますが、これまでの学びを活かして男女共同参画に関わっていきたくと思っています。皆様よろしくお祈りいたします。

一宮市男女共同参画推進サポーター「ともに 138」の小森緑です。微力ですが政策課の男女参画セミナーのお手伝いをしています。今年は「わが子に伝える『生』と『性』」です。交流ネットも興味深いセミナーが開催される予定で楽しみです。

初めまして！常滑市在住、川口美代です。個人事業主として、オンライン広告を中心とした集客サポートやキャリアコンサルタントとして主婦の方のお仕事の悩み・人生相談を行っています。よろしくお祈りします

学習会のお知らせ

日時 2024年8月25日(日)
 学習会 10:30～12:00 (開場10:15)
 会場 ウィルあいち共用会議室 (2F)
 参加費/定員
 ① 学習会 1,000円 25名
 ② 交流会 1,000円 (軽食・ドリンク付き) 15名
※学習会終了後、市政資料館にて自由見学 (入館料無料/ウィルあいちより徒歩1分)
 ※交流会13:00～14:00/会場は市政資料館2F 研修室 ☎ 052-953-0051
 申込先 ウィルあいち交流ネット 担当: 箕浦
 E-mail net.koryu@gmail.com
主催 ウィルあいち交流ネット 共催 (公財)あいち男女共同参画財団

2024年度 第1回ウィルあいち交流ネット学習会

法を“知る”ことからはじめよう わたしを切り拓くために

「法」とは…「裁判」とは…改めて考えたことはありますか。
 NHK 朝ドラ『虎に翼』で、不承知に對待する親子の「はて？」に
 触れられ、この学習会を企画しました。
 日頃の生活やキャリア形成の中で出会うようなトラブルの予防や
 解決のために策を付けることなど、事例を基にわかりやすく解説。
 自分らしく生きられるよう法について学び、一緒に考えませんか。
 学習会の後は、ロケ地・名古屋市政資料館 (旧裁判所) 見学や
 交流会も開催します。

講師 プロフィール
 愛知県弁護士会所属、弁護士法人愛知総合法律事務所所属。1987年
 小牧市生まれ、名古屋大学法学部・法政大学法学部卒。司法定年検定で2018年
 弁護士登録。学芸大学大学院法学部等の労働事件等第一級法律事務、刑事事
 務に携わる。2015年から北名古屋市男女共同参画推進委員。

講師 横井優太弁護士

「寅子さんと名古屋」

ドラマの寅子さんは新潟で頑張っていますが、リアル寅子さん・三淵嘉子さんは名古屋の裁判所＝現在の市政資料館で働いていました。
 レトロな外観やステンドグラスはすてきですが、実際に入館すると冬はとても冷えたとか・当時の生活が偲べれます。

ウィルあいち交流ネットは、2001年ウィルあいちセミナー等の修了生の自主活動グループが結成

さわらび会 / メンズリブ名古屋 / 女性学 '98 の会 / グループキーツ / ウィル 2000 / I.W.L / ウィル Do2002 / サーティネット '05 / ベリーズ 18 / Step07 / Fem.'09 / Amelie '10 / ひかるよ '15 / そだね！2017 / Hey Say Final / Reiwa'19 / みつ 2020 / リモート 2021 / Women's cup'22 / Lapin'23 / 2024年7月発行
 編集発行:ウィルあいち交流ネット 協力:(公益財団法人 あいち男女共同参画財団)